

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	国立国際医療研究センター臨床研究基盤体制整備事業		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	疾病対策課 肝炎対策推進室		肝炎対策推進室 北澤 潤		
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-4 感染症の発生・まん延を防止する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	肝炎対策基本法 第18条第1項及び第2項		関係する計画、通知等	日本再生戦略、医療イノベーション5か年戦略				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	肝炎患者の治療成績の向上、生命予後の改善のために国内に世界有数の研究拠点を整備し、先駆的な研究を強力に行うことができる体制の構築することにより肝炎対策の推進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日本の肝炎研究の中核施設である国立国際医療研究センター(肝炎・免疫研究センター)に最先端機器等を整備し、世界最高レベルの研究が遂行できる体制を構築する。 国内に世界有数の研究拠点を整備することにより、肝炎患者の適切な治療や生命予後の改善につながり、国内最大級の感染症である肝炎の大幅な増加の防止を図ることが期待できる。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	1,600
		補正予算						
		繰越し等						
		計						1,600
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	肝炎患者増加の抑制効果を示す指標がないため、数値で定量的に成果目標を示すことは困難である。		成果実績	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	肝炎患者増加の抑制効果を示す指標がないため、数値で定量的に活動指標を示すことは困難である。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	
			%	-	-	-	-	
単位当たりコスト	- (円 / -)		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	人件費	-	169	日本再生戦略に関する「特別重点要求」(ライフ分野) 1,600				
	備品費	-	1,407					
	消耗品費	-	8					
	印刷製本費	-	2					
	通信運搬費	-	4.32					
	委託費	-	9.45					
	計	0	1,600					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は国内最大級の感染症である肝炎の治療成績の向上等を目指して実施するもので、ニーズ・優先度共に高い事業である。
	-	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	-
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	-
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	-
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	-
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	-
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-
点検結果	-		
予算監視・効率化チームの所見			
-	本事業は、肝炎治療成績の向上を目的として、我が国の肝炎研究の中核施設である国立国際医療研究センターに、高度かつ先進的な臨床研究の体制整備に必要な経費であり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		9			
		3			
		2			
計		14	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.000	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					